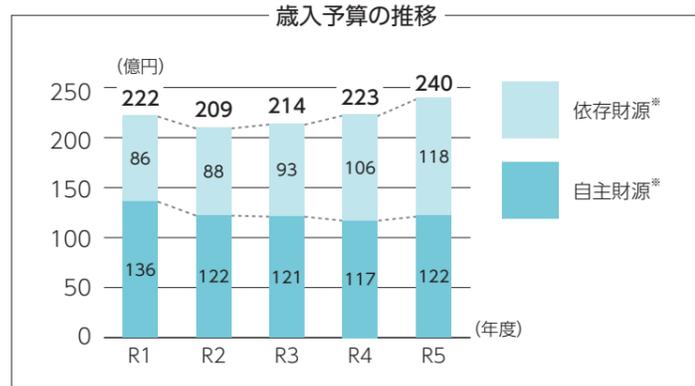


令和5年度 一般会計 当初予算

歳入
240 億円

豊かな自然や風土を生かした「山辺の暮らし」を発信し、キャンプ場の整備や野外体験など、さまざまな体験ができるグリーンインフラの整備を進めます。また、保育園と小中学校の給食費の無償化を子育て支援と保育士や教職員の業務負担の軽減を兼ねて進めるなど、地域の活性化と次世代につながる予算としました。



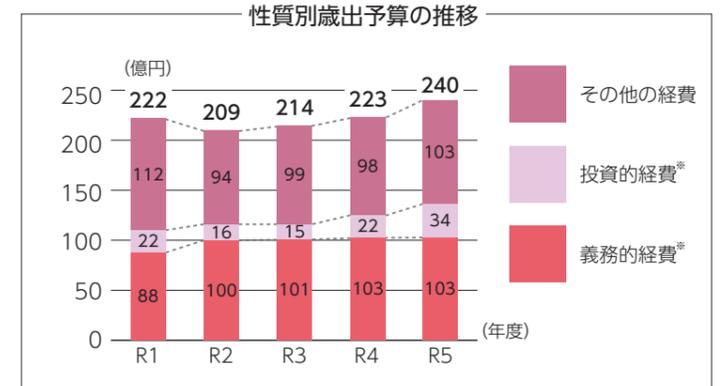
※自主財源…市民税、固定資産税など自主的に収入できる財源
 ※依存財源…地方交付税、市債、国庫・県支出金など国や県から配分される財源

当初予算は、一年間(一会計年度)の収入のうち「自主財源(市税など)」と「依存財源(地方交付税や市債など)」を見積ったうえで、行政上必要な支出の金額をバランスよく計画しています。詳細情報はホームページで確認してください。
 ※金額は表示単位未満四捨五入のため合計が合わない場合があります。

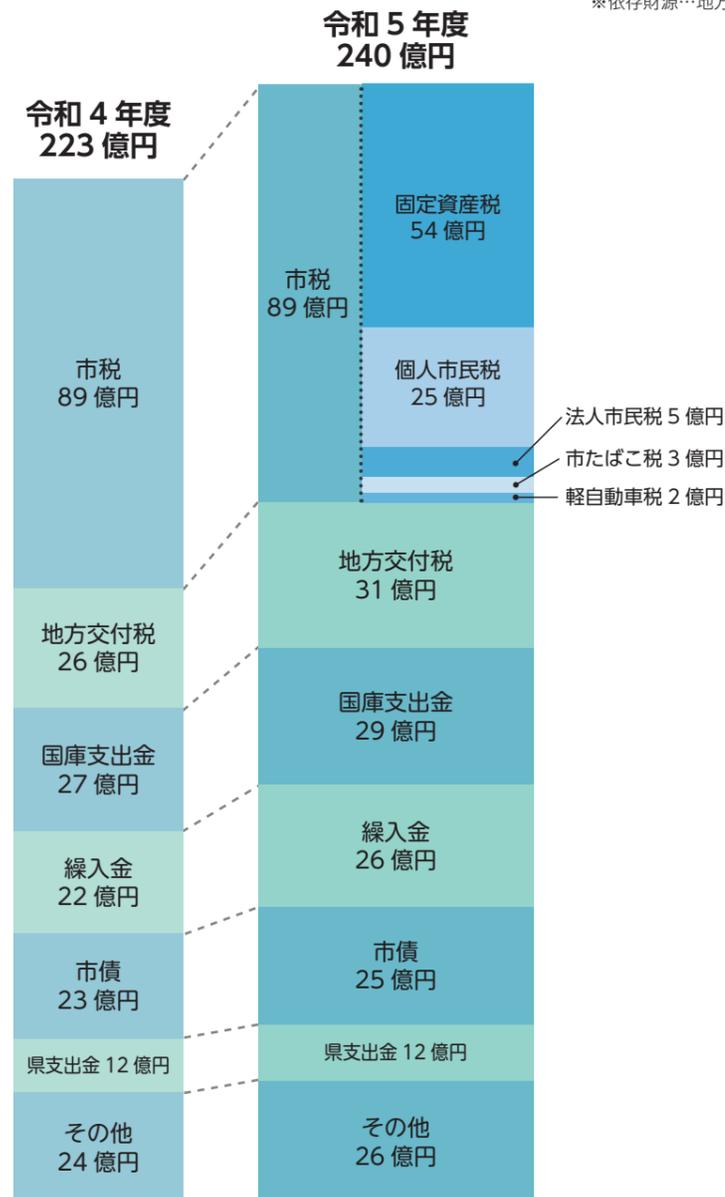
財政課 ☎ 86-7742



歳出
240 億円



※義務的経費…支出が義務付けられ任意に削減できない経費。人件費、扶助費、公債費の3つ
 ※投資的経費…支出の効果が資本形成に向けられ、施設など将来に残るものに支出される経費



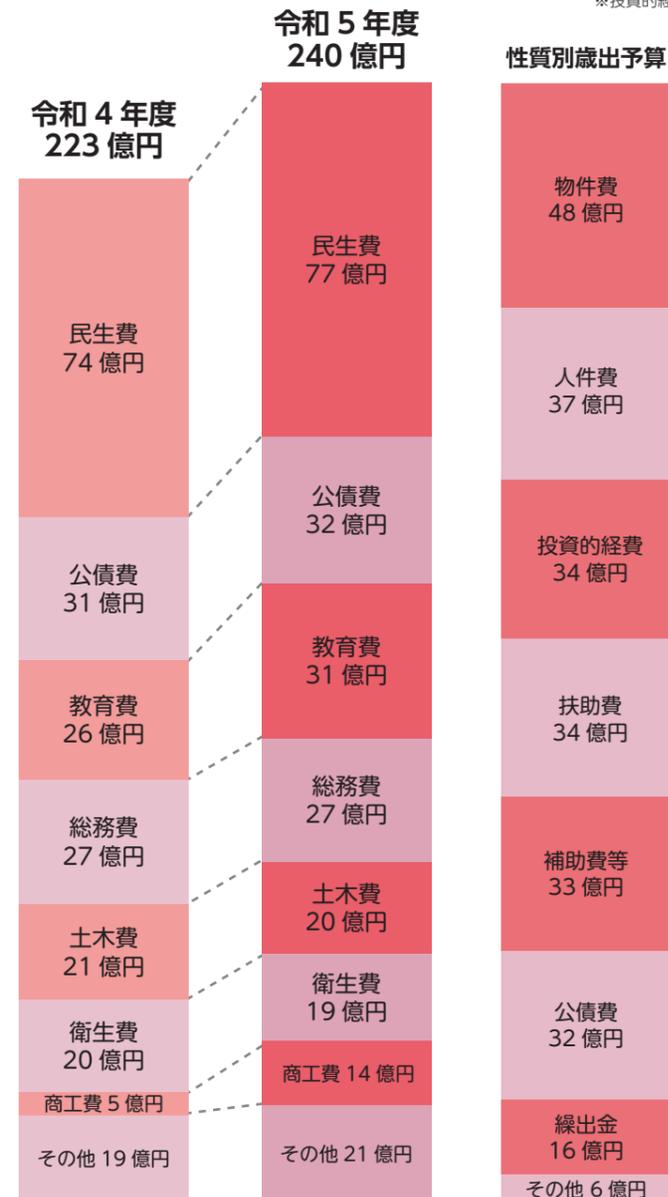
市税(市民の皆さんから)
 89億円(前年度比増減なし)を計上しました。個人市民税は1億円の増、法人市民税は1億円の減、固定資産税は前年度と同額としました。

地方交付税(国からの配分)
 31億円(前年度比5億円増)を計上しました。国の交付税財源が確保され、交付見込額が増加するためです。

国庫支出金(国からの補助金など)
 29億円(前年度比2億円増)を計上しました。地方創生拠点整備交付金、保育所等整備交付金、出産・子育て応援交付金事業補助金などによりです。

繰入金(貯金や他会計から)
 26億円(前年度比4億円増)を計上しました。合併特例債などの借入償還に対応するため、基金(貯金)から一般会計へ繰り入れます。

市債(借金)
 25億円(前年度比2億円増)を計上しました。インフラ施設などの整備事業の財源として借り入れます。



民生費(福祉に)
 77億円(前年度比3億円増)を計上しました。保育所の運営や給食費の無償化などを行います。

公債費(借りたお金の返済に)
 32億円(前年度比1億円増)を計上しました。合併特例債などで借り入れたお金の償還を行います。

教育費(学校教育やスポーツ振興などに)
 31億円(前年度比5億円増)を計上しました。学校給食の無償化や温水プールの建設などを行います。

総務費(税務や戸籍などに)
 27億円(前年度比増減なし)を計上しました。市役所のデジタル化、三岐鉄道北勢線の支援、福祉バスの運行などを行います。

土木費(道路や公園などに)
 20億円(前年度比1億円減)を計上しました。通学路の安全対策や道路舗装の維持修繕などを行います。

衛生費(健康増進やごみ処理などに)
 19億円(前年度比1億円減)を計上しました。新型コロナウイルスワクチン接種やごみ収集事業などを行います。

商工費(観光などに)
 14億円(前年度比9億円増)を計上しました。キャンプ場やグリーンインフラの整備などを行います。